

一般質問

△日野議員▽
農業振興計画は平成14年に策定したきりである。
これは行政単独で策定するのではなく、農業団体、農協、関係機



問 新たな農業振興計画を
答 現計画を基に振興を図る

△長屋町長▽
昨年度は熊出沢川の流量調査を実施した。本年度は農業水路等の長寿命化事業を行なう他、昨年に引き続き河川の流量調査を実施する。この結果を踏まえて、令和3年度～6年度に北海道開発局と

△日野議員▽
雑用水は近年老朽化に伴い、漏水箇所が散見する。施設更新の事業計画の現状は。

△長屋町長▽
第6期滝上町総合計画で掲げた11施策に基づき今後取り進めることとし、新たな計画を策定する考えはない。

関、そして農業者がそれぞれ役割の下、話し合いを数多く持ち連携していくものだが、今年度中に新たな計画を策定する考えはないか。

△長屋町長▽
生産者、行政、農協等そして関係機関が、皆が同じ方向を向いて進んでいくということが一番農業の振興に大事なことなので、その方向で進めていきたい。

△日野議員▽
柔軟性を持った中で、農業振興に支援するということだが、どのように取り組むのか。

北海道と本格的な協議を行う。その上で令和7年度に事業着工する見込みとなっている。

第6期滝上町総合計画で掲げる11の主な施策

- 1 生産基盤強化～・土づくり、規模拡大の推進
- 2 経営基盤強化～・農業経営資金の有効活用
- 3 技術基盤強化～・労働力不足解消（機械の自動化、搾乳ロボット、GPSトラクター等）
- 4 生産の安定化～・作付作物の保護（エゾシカ等の食害防止等）
- 5 地域作物の推進～・南瓜・スイートコーンの作付支援及び地元産業への支援
- 6 経営支援システムの整備～・農作業受託及び酪農ヘルパーの充実
- 7 新商品の開発支援～地元産品の商品開発
- 8 担い手の育成・確保～・就農研修、新規就農者確保強化
- 9 安心・安全な食の推進～地産地消の普及・啓蒙
- 10 農用地の利用集積の推進～農地の集積
- 11 環境との調和～循環型農業の確立